

全徳森遺跡 3

— 宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査 —

2018（平成 30）年

高崎市教育委員会
株式会社 歴史の杜
有限会社芙蓉興産

例 言

1. 本書は、宅地造成に伴う全徳森遺跡第3次調査（高崎市遺跡番号 709）の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 本遺跡の所在は、群馬県高崎市真郷町生原字全徳森 474 番 10、476 番 1、477 番 2 である。
3. 発掘調査は、平成 29 年 8 月 22 日より平成 29 年 8 月 31 日まで実施した。
4. 発掘調査及び整理調査・報告書作成は、高崎市教育委員会の監理の下、有限会社芙蓉興産と委託契約を締結した株式会社歴史の杜が実施した。
5. 発掘調査の体制は、下記の通りである。

高崎市教育委員会 矢島 浩（監督員）
株式会社歴史の杜 村上章義（発掘担当者） 笹井 彩（調査補助員）
6. 本書の編集は、村上が行い、笹井が補佐した。執筆は I を高崎市教育委員会文化財保護課が、VI を村上が、他を笹井が行なった。
7. 発掘調査及び整理調査・報告書作成における図面・写真・遺物は、高崎市教育委員会で保管している。
8. 発掘調査及び報告書作成に従事した作業員は、以下の通りである。（敬称略・五十音順）

発掘調査 富岡興宣、南雲淳一、二瓶和彦、二瓶麻里
整理調査 篠原信子、深井美紀
9. 遺構及び遺物の写真撮影は、村上、笹井が行なった。
10. 発掘調査の実施及び本書の刊行にあたり、上記のほかに、下記の諸氏、諸機関にご指導・ご協力を賜りました。記して謝意を表します。（敬称略・順不同）

秋元太郎、吉田智哉、富澤政美、茂木孝行、上野川 勝、原 真

凡 例

1. 本書掲載の第 1 図は高崎市発行 1/2,500 「都市計画情報図」を、第 2 図は国土地理院発行 1/25,000 地形図「下室田」を、それぞれを使用した。
2. 遺構挿図の座標については、世界測地系（測地成果 2000）を使用した。図中に示した方位は、座標北である。
3. 土層及び遺物の色調は、「新版標準土色帳」38 版（2015）による。
4. 本書における遺構種類の略号は、SI = 積穴建物、SK = 土坑、P = ピットである。
5. 本書における火山噴出物の略号は、天仁元（1108）年の浅間山噴火による降下テフラ = As-B である。
6. 基本土層では、上層から大文字のローマ数字を付した。遺構覆土層では、上層から算用数字を付した。
7. 基本土層及び遺構覆土の土層注記は、土壤調査で用いられる項目（日本土壤肥料学会 2006）に基づき、以下の書式で記載した。混入物の粒径の単位は「cm」である。

層番号 ①土色（色相・明度・彩度）②粒径③土性④粘着性⑤可塑性⑥土壤硬度⑦混入物
8. 遺物観察表中の口徑等の法量の数値は、それぞれ接地点からの距離である。単位は「cm」である。
9. 観察・一覧表の数値に付けられた（ ）は遺存する現状値を、〈 〉は推定値をそれぞれ示し、単位は「cm」である。
10. 遺構・遺物挿図内のスクリートーンが示す内容は、以下の通りである。

遺構 燐土 ■ 粘土 □ 石断面 □□□□□ 石範囲 □□□□□
遺物 灰釉 ■

目 次

例言・凡例

目次

I. 調査に至る経緯	1
II. 調査の方法と経過	1
III. 遺跡の立地と周辺の遺跡	2
IV. 基本層序	3
V. 検出された遺構と遺物	5
1. 積穴建物	5
2. 地下式坑・段切り状遺構	7
3. 土坑・ピット	9
4. 遺物	10
VI. まとめ	14

写真図版

抄録

奥付

挿図目次

第1図 調査区位置図	第7図 S K02出土遺物図(1)
第2図 本遺跡の位置と周辺の遺跡	第8図 S K02出土遺物図(2)
第3図 全体図、土坑・ピット平面図、基本土層断面図	第9図 S K02出土遺物図(3)
第4図 S I 01平・断面図、出土遺物図	第10図 土坑、ピット断面図
第5図 S I 02平・断面図	第11図 段切り状遺構出土遺物図
第6図 S K02・03、段切り状遺構平・断面図	

表 目 次

第1表 周辺遺跡一覧表	第5表 S K 02出土遺物観察表③
第2表 S I 01出土遺物観察表	第6表 土坑・ピット計測表
第3表 S K 02出土遺物観察表①	第7表 段切り状遺構出土遺物観察表
第4表 S K 02出土遺物観察表②	

写真図版目次

写真図版1	1 調査区全景	2 調査区俯瞰
写真図版2	3 地下式坑(S K02)、段切り状遺構全景	4 遺構検出状況
	5 S I 01全景	6 S I 01カマド全景
	7 S I 01カマド検出状況	
写真図版3	8 S I 01須恵器窯(No.1)出土状況	9 S K02流入遺物出土状況
	10 S K02完掘全景	11 S K07・08全景
	12 ピット、土坑群(中央部)全景	13 ピット、土坑群(南東隅)全景
	14 ピット、土坑群(北東隅)全景	15 ピット、土坑群(東部)全景
写真図版4	S I 01出土遺物 No.1~2	S K02出土遺物 No.1~19
	段切り状遺構出土遺物 No.1~3	

1. 調査に至る経緯

平成 29 年 5 月、土地所有者である増田文子氏と有限会社芙蓉興産から、高崎市宮郷町生原において計画している宅地分譲に先立つ埋蔵文化財の照会が市教育委員会文化財保護課（以下、市教委と略）にあった。当該地は周囲の埋蔵文化財包蔵地である全徳森遺跡内に所在するため、工事に際しては協議が必要である旨を回答した。同年 5 月 10 日には、市教委へ埋蔵文化財試掘（確認）調査依頼書が提出され、同年 6 月 27 日に試掘（確認）調査を実施した。その結果、土坑と溝を確認した。この結果をもとに開発者と市教委で協議したが、現状保存は困難との結論に達し、発掘調査による記録保存の措置を講ずることで合意した。なお遺跡名については「全徳森遺跡 3」とした。

発掘調査は「群馬県内の記録保存を目的とする埋蔵文化財の発掘調査における民間調査組織導入事務取扱要領」に順じ、平成29年8月4日に有限会社芙蓉興産と民間調査機関株式会社歴史の杜との間で契約を締結。また同日には有限会社芙蓉興産・株式会社歴史の杜・市教委での三者協定書(締結)。調査の実施にあたって由秀が指揮・監修をすることとなった。

II. 調査の方法と経過

調査の方法 今回の調査では、約 78m²を対象とした。調査区の南側に家屋が隣接しているため、南壁から 1 m の範囲は安全のため対象外とした。

遺構確認面の検出は、試掘調査の結果に基づき、重機によって地表面より75cmから1m30cmまで掘り下げた。この際出土した遺物は、原位置を失ったものは表土一括として採り上げた。遺構確認作業はジョレンを用いて人力で行い、遺構の振削は、機出された各遺構の形態、大きさを考慮して適宜土層觀察用のベルトを残し、土の堆積状況や遺物の出土状況に留意しながら行なった。遺構の記録は、遺構実測図作成及び写真撮影を実施した。遺構実測図は、光波測距儀を用いて全体図を1/100、遺構平面・断面図を1/20の縮尺で作成した。記録写真是、35mm小型一眼レフカメラを用いて、モノクロームネガ・カラーラバーサルフィルムの2種類を使用し、両者同一年カットを、絞り優先で露出補正して、3枚1単位で撮影を行なった。空中写真撮影にはドローンを用いた。調査区の狭い範囲であることから、グリッドの設定は行わなかった。

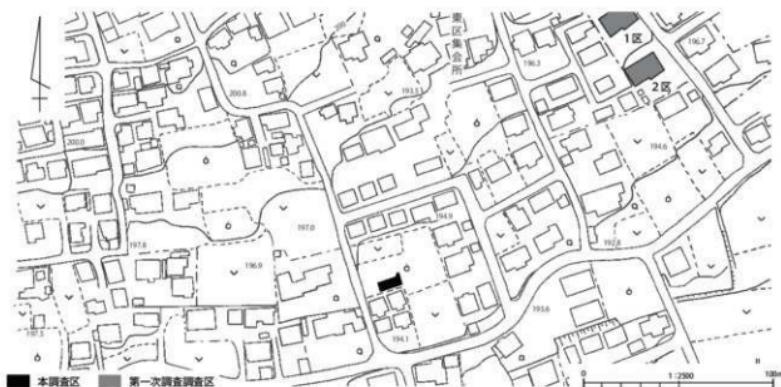
調査の経過 発掘調査は、平成29年8月22日より8月31日の間で実施した。以下に調査経過の概略を記載する。

8月22日 調査区設定。仮設トイレ・発掘器材搬入。 8月28日 遺構測量開始。

8月23日 重機搬入。表土掘削、道構確認作業。 8月29日 道構掘削・測量作業完了。空中写真撮影。

8月24日 作業員雇用開始、建機確認作業

8月31日、仮設トイレ撤出。発掘調査の全工程終了。



第1図 調査区位置図



第2図 本遺跡の位置と周辺の遺跡

III. 遺跡の立地と周辺の遺跡

遺跡の位置と周辺の地形 本遺跡（1）が所在する高崎市箕郷町は、関東平野の北西部に位置し、南東側で埼玉県、北西側で長野県に接する。周辺の地形は榛名山の火山活動の影響を強く受けている。榛名山東南麓には相馬ヶ原扇状地が広がり、西側には古期扇状地面である十文字面が形成されている。また、榛名白川と井野川に挟まれた地には、小規模な扇状地（白川扇状地）が形成されているが、これは6世紀の二ッ岳噴火に伴う火碎流によるものである。本遺跡の所在地は、相馬ヶ原扇状地の西端に位置し、白川扇状地との境界付近に該当する。

歴史的環境 本遺跡の周辺で確認された田島・大清水遺跡（8・9）、海行A・B遺跡（10・11）、善龍寺前遺跡（12）、中新田遺跡（13）、八反畠遺跡（5）、諫訪遺跡（7）、飯盛遺跡（14）、佐藤遺跡（15）、堀ノ内遺跡（16）、薬師遺跡（17）などは「生原遺跡群」と呼ばれている。周辺の地理的・歴史的環境については各遺跡の調査報告書に詳述されているが、ここでは「生原・天神前遺跡」（水谷2010）を参考に略述した。

縄文時代 和田山天神前遺跡（37）、生原八反畠遺跡（4）、善龍寺前遺跡などで前期～中期の住居が検出されている。

弥生時代 全徳森遺跡（2）で槻式期の斐片が1点出土しているが、当遺跡周辺では弥生時代の遺構・遺物は少ない。

古墳時代 古墳時代前期の遺構・遺物は飯盛遺跡・佐藤遺跡・田島遺跡で少数発見されているが、本格的な集落の形成は後期以降であると見られる。5世紀後半には保渡田古墳群（24・26・27）が築造され、6世紀以降には群集墳が多数築造される。富岡竹ノ内・和田山寺久保遺跡（35・36）では、古墳だけでなく墓道や土器を埋納した祭祀跡が発見されている。

奈良・平安時代 下芝五反田遺跡（41・42）では、8世紀後半～11世紀初頭にかけての開発集落が確認された。下芝天神遺跡（40）では、古墳時代から持続すると見られる集落が検出され、平安時代の住居、掘立柱建物、水田などが確認

第1表 周辺遺跡一覧表

NO.	遺跡名	遺跡内容	文献
1	木幡跡(全體森遺跡3)	古代：集落、As-B疊下に隣：土坑	山口＝25・他 2009「全體森遺跡」高崎市教委
2	全體森遺跡	古代：集落、As-B疊下に隣：土坑	山口＝25・他 2009「全體森遺跡」高崎市教委
3	木幡跡(全體森遺跡)	古墳、土坑、石器、古代：集落	高林真人、2007「木幡・原山遺跡」高崎市教委
4	牛原山・八反田遺跡	構文：土壙跡、古代：集落	山口＝25・他 2009「木幡・原山・八反田遺跡」高崎市教委
5	八反田遺跡	構文：土壙跡、古代：集落	山口＝25・他 2009「木幡・原山・八反田遺跡」高崎市教委
6	牛原・桜木遺跡	古墳、土壙跡、ビット、古代：集落	村上泰義、2009「木幡・桜木遺跡」高崎市教委
7	瀬訪跡	古代：住居	山口＝25・他 1988「瀬訪」高崎市教委
8	山島跡	中近世：塀合建物跡、土垣	山口＝25・他 1982「山島・山鳥・大字水道町」箕郷町教委
9	大清水山遺跡	中近世：塀合建物跡、土垣、溝	山口＝25・他 1982「大清水山・大字水道町」箕郷町教委
10	舟山山遺跡	古墳、後期住居、古墳、墓葬	山口＝25・他 1988「舟山」高崎市教委
11	舟山山遺跡	古墳：後期住居、古墳、古代：集落	山口＝25・他 1988「舟山」高崎市教委
12	舟蘭寺前遺跡	構文：中朝集落、古墳：後期住居、群集墳	山口＝25・他 1986「舟蘭寺前遺跡」箕郷町教委
13	中浜山遺跡	古代：集落	山口＝25・他 1988「中浜」箕郷町教委
14	斎藤御跡	構文：中朝集落、古墳：集落、古墳、中世：居館址	山口＝25・他 1988「斎藤御跡」箕郷町教委
15	茂茂御跡	平安：集落	山口＝25・他 1988「茂茂」箕郷町教委
16	船ノ内遺跡	古墳：後期住居、古代：集落	山口＝25・他 1988「船ノ内」箕郷町教委
17	菊池御跡	古代：集落	山口＝25・他 1988「菊池」箕郷町教委
18	上ノ・西金沢遺跡	古代：B下水田、溝、土坑	山口＝25・他 2009「上ノ・西金沢遺跡」高崎市教委
19	保連山山遺跡	鍛冶：中朝集落、古墳：後期住居、中近世：溝	山口＝25・他 1988「保連山山遺跡」高崎市教委
20	西芝遺跡	古墳：集落、古代：集落	水谷豊一、1991「中里遺跡西芝・中道・所附・保連山遺跡」群馬県教委
21	保連山東山遺跡	古代：集落	沢井健一、1980「保連山東山遺跡」箕郷町教委
22	保連山神門遺跡	先史：住居、古墳：集落、後期古墳、古代：集落、中近世：溝、井戸、土坑	沢井健一、1980「保連山東山・飛来山遺跡」群馬県教委
23	保連山遺跡	古代：B下水田	五十嵐信一、1983「保連山山遺跡・飛来山遺跡」群馬県教委
24	保連山御跡古墳	5C系多方面墳	沢井健一、1990「保連山山遺跡」群馬県教委
25	保連山山遺跡	古墳：小切開墳	沢井健一、1990「保連山山遺跡」群馬県教委
26	保連山山御跡古墳	古墳：B下水田の側面凹壇	沢井健一、2000「保連山山遺跡」群馬県教委
27	忍足山山遺跡	古墳：子母竹遺跡、人跡の方面竹遺跡	山口＝25・他 1989「忍足山山遺跡」箕郷町教委
28	忍足山山遺跡	古墳、地蔵、B下水田、中世：船跡	山口＝25・他 1989「忍足山山遺跡」箕郷町教委
29	谷原跡	古墳：土壙跡、古代：B下水田	山口＝25・他 1989「忍足山山遺跡」箕郷町教委
30	下笠・谷ツ古跡	古墳：小切開墳	山口＝25・他 1998「日本考古学報」39「日本考古学協会
31	下笠山行遺跡	古墳：後流高台、古代：墳六	鶴島良己、2008「下笠山行遺跡・下笠山行古墳」高崎市教委
32	栗原御跡	溝	鶴島良己、2015「平成25年度高崎市立歴史資料館報告書」高崎市教委
33	箕輪城	城郭：城跡	山口＝25・他 2000～2007「史跡・箕輪城跡」（1）～（4）高崎市教委
34	上足古墳	6C・半立貝式古墳	箕郷町教委 1975「箕郷町史」箕郷町教委
35	富岡山ノ内遺跡	古墳：集落、古墳、中近世：道、日没：溝	安房和久、2005「富岡竹ノ内遺跡・富岡山ノ内遺跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団
36	和田山寺久保遺跡	古墳：集落、古墳	安房和久、2006「富岡竹ノ内遺跡・和田山寺久保遺跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団
37	和田山天神山遺跡	田石器・石器、構文：集落、古墳：後期集落、群集墳、道、古代：集落、道、中世：	安房和久、2006「和田山天神山遺跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団
38	和田山古墳群	構文：漱石遺跡、古墳：古墳群	平井英美香、2008「和田山古墳群」高崎市教委
39	下足・山岸尾遺跡	古代：FII・洪積中期山中島、FIV・泥流中島、中世：耕作用廻	鈴木正士、1998「下足・山岸尾遺跡・下足・山岸尾遺跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団
40	下足・木神道跡	古墳：As-BとAs-Kkの集落。古、古代：集落、B下水田	鈴木正士、1998「下足木神道跡・下足・木神道跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団
41	下足・五反田遺跡(埋文)	古墳：集落、高、空砲	神谷洋介、1998「下足・五反田遺跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団
42	下足・反田山遺跡	古墳：泥流下段、古墳、古代：水路、中世：工具置	鈴木正士、2008「下足・反田山遺跡」下足・萬葉跡（附）高崎市教委
43	下足・木名社遺跡	古墳：中朝集落、古墳：集落、B下水田、中近世：井戸、土坑、溝、耕作痕	深澤寅人・他 1994「下足木名社遺跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団
44	御田山山遺跡	古墳：後期住居、FII・下水田、古代：B下水田	深澤寅人・他 1998「御田山山遺跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団
45	御田山山遺跡	古墳：B下水田、古代：水田、中近世：井戸、土坑、溝	深澤寅人・他 1998「御田山山遺跡」（附）群馬県埋蔵文化財調査事業団

されている。全德森遺跡では、住居・8軒、溝、配石墓などが検出された。配石墓は、平安時代の集落内における墓域のあり方を示す良好な資料となっている。

中世 16世紀初頭には在地領主長野氏により箕輪城跡（33）が築造され、武田・織田・北条・徳川ら各大名の重要な拠点となった。その他、和田山天神前遺跡、浜川高田遺跡（45）、飯盛遺跡などでも、居館跡や掘立柱建物が検出されており、当地域では箕輪城を中心とした集落が複数営まれていたと推測される。

IV. 基本層序

本遺跡は、相馬ヶ原原状地砂礫層上に形成されたローム層を最下層とする。調査では、試掘調査の成果に基づき、I層からIII層まで重機による除去を行ったため、I層からIII層まで表土層として扱った。調査区北壁で基本層序を確認した。

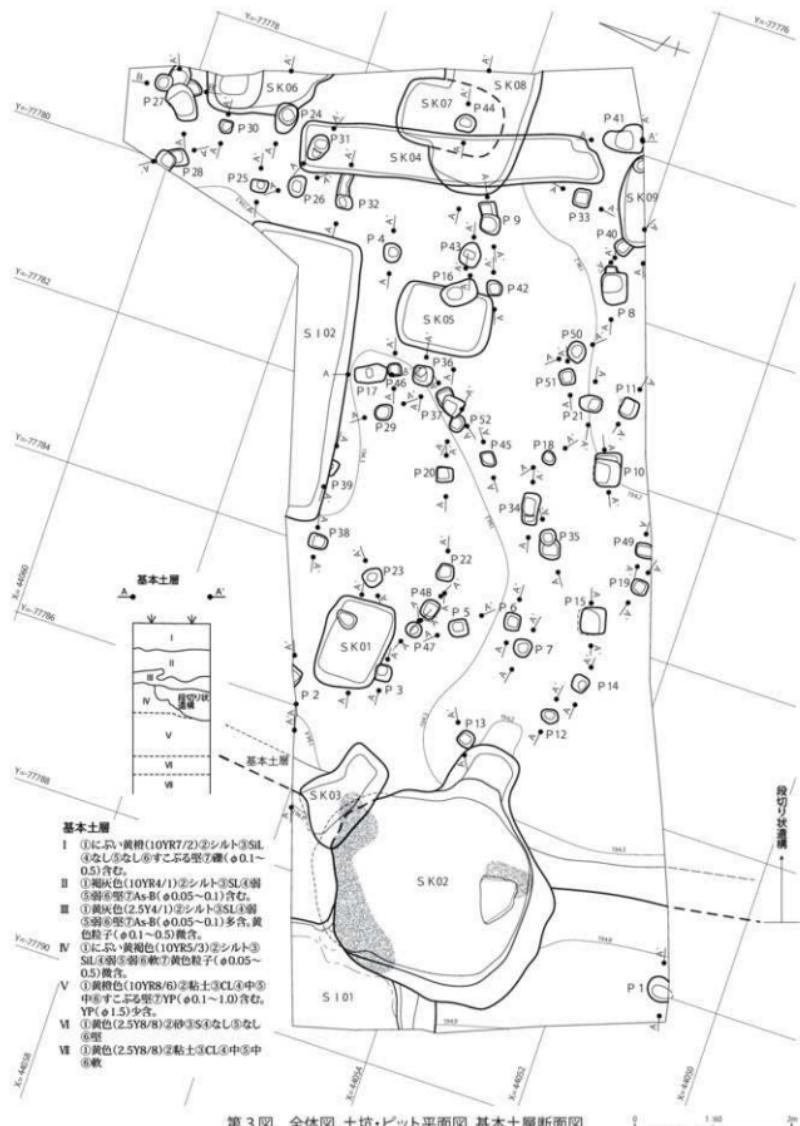
I層…表土層。微砂質で礫を含む。II層土を主体とする現

代耕作土。現代の耕作によって、II層の上層を攪拌して生成されたと考えられる。

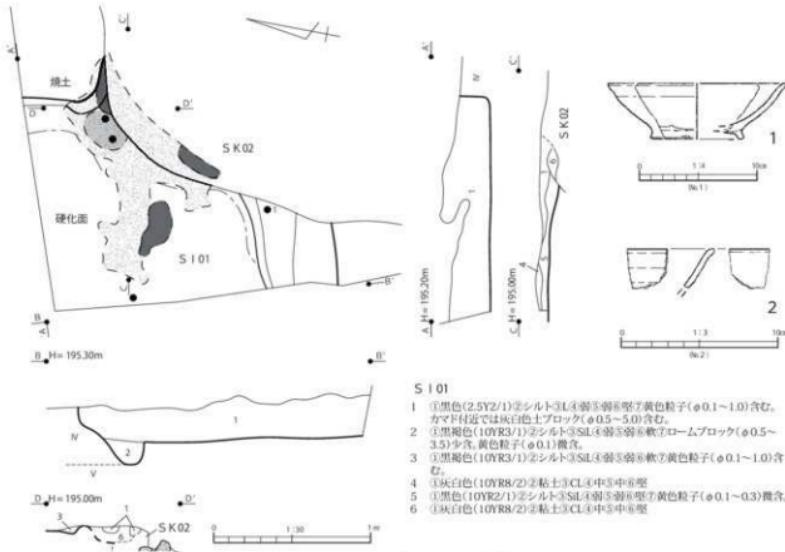
II層…As-B混土層。砂質でAs-Bを含む灰褐色土。III層を攪拌して形成された層で、軽石の含有量はII層よりも少ない。層位的にAs-Aも含まれる可能性もある。

III層…As-B混土層。砂質でAs-Bを多量に含む黒褐色土。

IV層…ローム漸移層。微砂質のにぶい黄褐色土。V層…ローム層。粘土質で黄色粒子を微量含む。VI層…砂質の黄色土。黄色粒子を少量含む。VII層…ローム層。粘土質の黄色土。



第3図 全体図、土坑・ピット平面図、基本土層断面図



第4図 S I 01平・断面図、出土遺物図

第2表 S I 01出土遺物観察表

扣載番号	種別	器種	残存部位	器高	口径幅	底径厚さ	重量	外面部調	内面部調	主な文様・調整等	備考
1	須恵器	椀	L1-底 1/3	4.6	<15.0>	<7.8>	-	SY 7/1	灰黄 7/2	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	黒粒、白粒
2	須恵器	环	口 破片 (2.4)	-	-	-	-	2.5Y 4/1	黄灰 2.5Y 4/1	外:ヨコナデ 内:ヨコナデ	黒粒、白粒

V. 検出された遺構と遺物

今回の調査で検出された遺構は、竪穴建物1棟、土坑10基、ピット52基であった。S I 01のある区画とピット群の検出された区画には約50cmの段差が存在するが、中世の段切り状遺構と見られる。

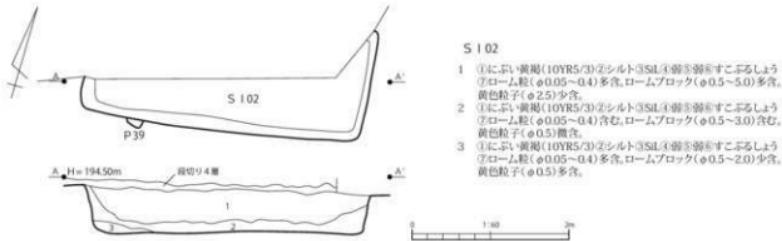
出土遺物はS I 01、S K 02に集中しており、土師器、須恵器、内耳鏡、茶白、羽釜など、破片数にして133点が出土した。このうち出土状況の良いものを中心、24点を掲載した。

1. 竪穴建物 (S I 01、第4図:写真図版2~4)

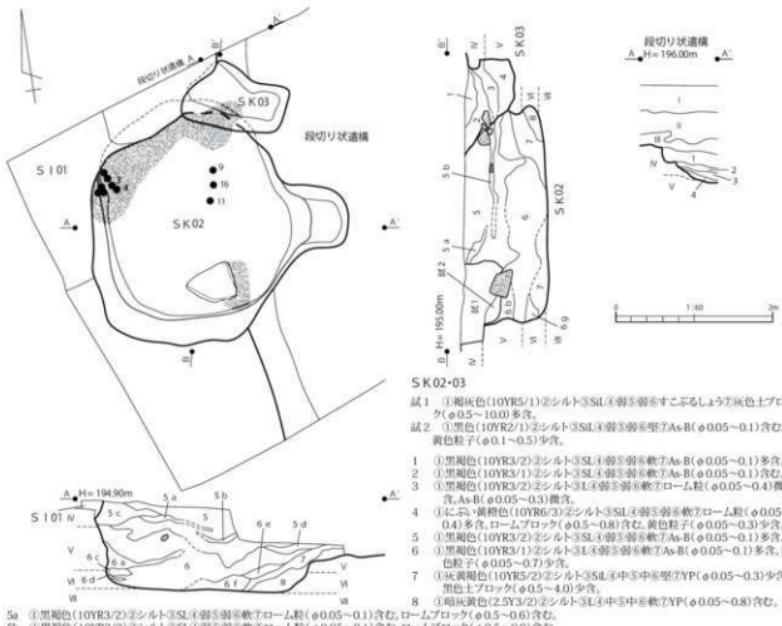
位置 座標(X=44053、Y=-77788)と座標(X=44056、Y=-77790)の間に位置する。 **形態** 調査区北壁隅に位置し、S K 02に切られるため全貌は不明である。深さ約30cm。**施設** S K 02の傍でカマドが検出された。カマドの周囲では焼土や灰が確認されている。**概要** S K 02に南東を切られる。ほとんどの範囲が調査区外となるため、遺存度は悪い。遺構中央部と見られる1.5m×1.1mの範囲で、床面に硬化面が認められた。上層の覆土にAs-Bを含む。**遺物** 須恵器片が20点、土師器片が2点出土している。そのうち須恵器椀、环片各1点(S I 01 No. 1~2)を本書に掲載した。他に、本建物跡を切るS K 02の覆土中からコの字彫片、羽釜片、土釜片など(S K 02 No. 1~7)が出土している。出土位置はS I 01付近であり、S I 01由来と考えられる。**時代** 遺物から10世紀前半と推定される。

2号竪穴建物 (S I 02、第5図)

位置 座標(X=44056、Y=-77780)と座標(X=44059、Y=-77784)の間に位置する。**形態** 幅約3.6m×1.5m、深さは70cmである。調査区北壁際に位置しているため遺存度が悪いが、検出部分から推定すると、平面形は細長い長



第5図 S102平・断面図



- 5a) 黒褐色(10YR 2/2)・黒土(10YR 3/2)・黒色(10YR 4/2)の各7cm(φ0.05~0.1)含む。ローム・プロック(φ0.5~0.6)多含。
 5b) 黒褐色(10YR 3/2)・黒土(10YR 3/2)・黒色(10YR 4/2)の各7cm(φ0.05~0.1)含む。ローム・プロック(φ0.5~0.9)多含。
 5c) 黒褐色(10YR 3/2)・黒土(10YR 3/2)・黒色(10YR 4/2)の各7cm(φ0.05~0.1)多含。
 5d) 黑褐色(10YR 3/2)・黒土(10YR 3/2)・黒色(10YR 4/2)の各7cm(φ0.05~0.1)多含。
 6a) 黑褐色(10YR 1/2)・黒土(10YR 1/2)・黒色(10YR 1/2)の各7cm(φ0.05~0.4)少含。褐色土粒(φ0.05~0.1)多含。
 6b) 黑褐色(10YR 1/2)・黒土(10YR 1/2)・黒色(10YR 1/2)の各7cm(φ0.05~0.1)多含。黑色(プロック)(φ0.5~0.7)少含。
 6c) 黑褐色(10YR 1/2)・黒土(10YR 1/2)・黒色(10YR 1/2)の各7cm(φ0.05~0.4)含む。ローム・プロック(φ0.5~0.7)微含。褐色土粒(φ0.05~0.1)多含。
 6d) 黑褐色(10YR 1/2)・黒土(10YR 1/2)・黒色(10YR 1/2)の各7cm(φ0.05~0.4)含む。ローム・プロック(φ0.5~0.5)微含。
 7a) 黑褐色(10YR 1/2)・黒土(10YR 1/2)・黒色(10YR 1/2)の各7cm(φ0.05~0.1)含む。黑色(プロック)(φ0.5~0.7)少含。
 7b) 黑褐色(10YR 1/2)・黒土(10YR 1/2)・黒色(10YR 1/2)の各7cm(φ0.05~0.3)含む。黑色土粒(φ0.05~0.1)多含。

卷之三

- ①黒色(10YR2/1)・シルト・SL4・弱・弱・軟・A-B ($\phi=0.05\sim0.1$) 多含。
 ②黒褐色(10YR3/1)・シルト・SL4・弱・弱・強・B 層上・ブロック ($\phi=0.1\sim0.7$) 含む。
 ③黒色(10YR1.7/1)・シルト・SL4・弱・弱・軟・C 層上・ブロック ($\phi=0.1\sim0.6$) 含む。
 ④灰褐色(10YR5.2/2)・シルト・SL4・弱・弱・軟・D 層上・ブロック ($\phi=0.05\sim0.1$) 含む。

第6図 SK02-03 段切り状造構平・断面図

方形を呈すると考えられる。 **概要** 当初堅穴建物として調査を進めたが、短軸壁が検出され、想定より小型の短冊状であることが判明した。その形状や、カマドや柱穴などの施設が全く検出されなかつことから、堅穴建物ではなく土坑と判断した。しかし、混亂を避けるため当初の S I 02 のまま扱う。本遺構の埋没後に、段切り状遺構の覆土が堆積している。覆土に As-B は含まれていない。ピット群と同様に段切り状遺構の一施設と考えられる。 **遺物** 遺物は出土しなかつた。

時代 正確な時代は不明であるが、段切り状遺構に伴うとすれば、中世に比定される。

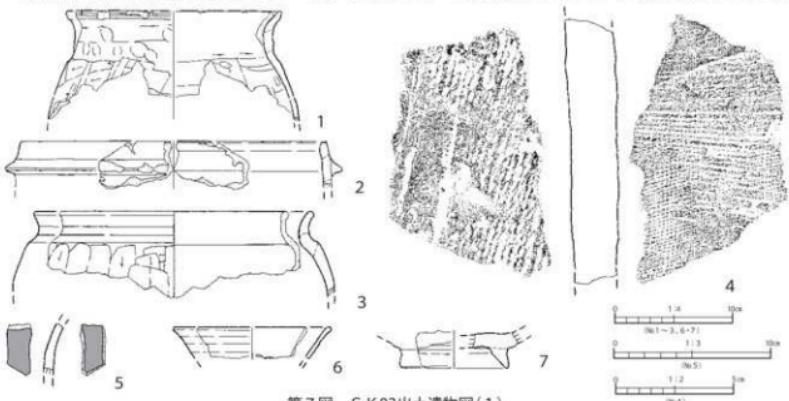
2. 地下式坑、段切り状遺構

2号土坑 (SK 02、第6～9図:写真図版2～4)

位置 座標 (X=44052, Y=77785) と座標 (X=44056, Y=77789) の間に位置する。 **形態** 幅約 3.2 m × 2.9 m (突出部を含む)、深さは約 1.1 m である。平面形は、楕円形に方形の突出部が付属する横瓶形を呈する。 **概要** 段切り状遺構とみられる段差にまたがって構築されている。S I 01 を切っており、SK 03 に切られる。壁が外側に向かって張り出し、東端部には入り口と思われる突出部を持つ。これらの形態から、地下式坑と判断した。北側では礫が集中して検出された他、南側で 60cm を超える石が確認された。覆土の上層は As-B 混土であるが、下層には As-B は含まれない。焼土などは検出されなかつた。 **遺物** 内耳鉗、鉢、羽釜などははじめ 93 点が出土した。本遺跡の出土遺物のほとんどは SK 02 からの出土である。このうち、No. 1～7 などは、その出土位置から S I 01 由来と思われる。これらは時代的にも、S I 01 からの流入であると考える方が確実はない。 **時代** 遺物から 15 世紀と推定される。

段切り状遺構 (第6、11図:写真図版2、4)

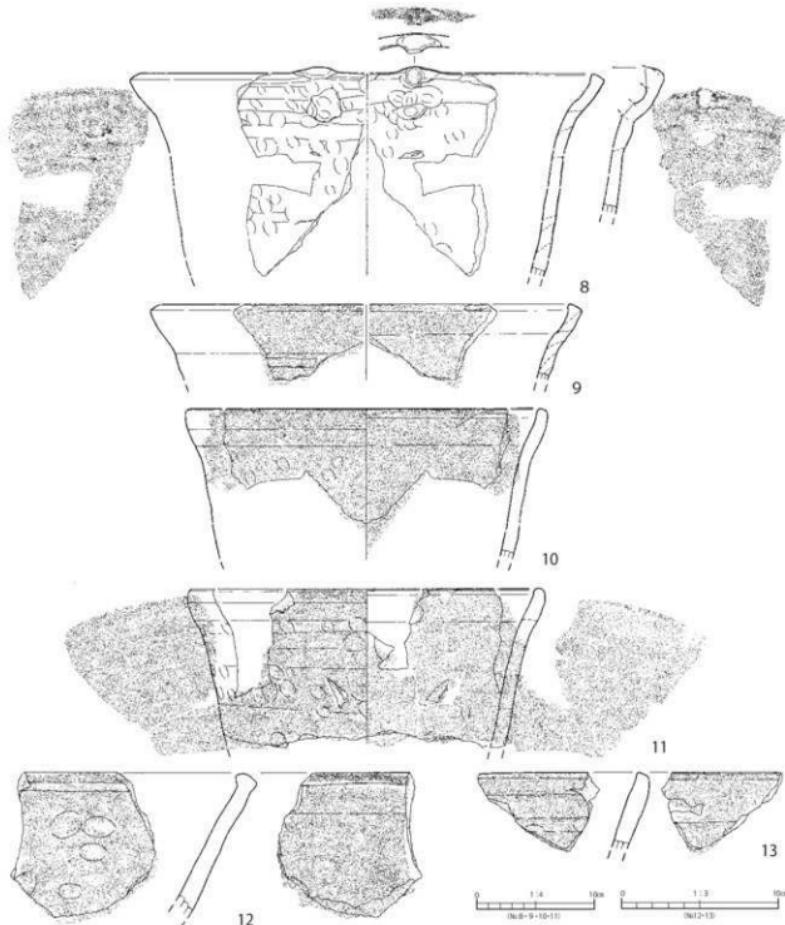
位置 座標 (X=44051, Y=77777) と座標 (X=44061, Y=77787) の間に位置する。 **形態** 境界は調査区外にあるため、規模や形状は不明。深さは約 0.5 m である。 **概要** IV 層を切り、ローム面まで掘り込まれている。底面はほぼ平坦である。



第7図 SK 02出土遺物図(1)

第3表 SK 02出土遺物観察表(1)

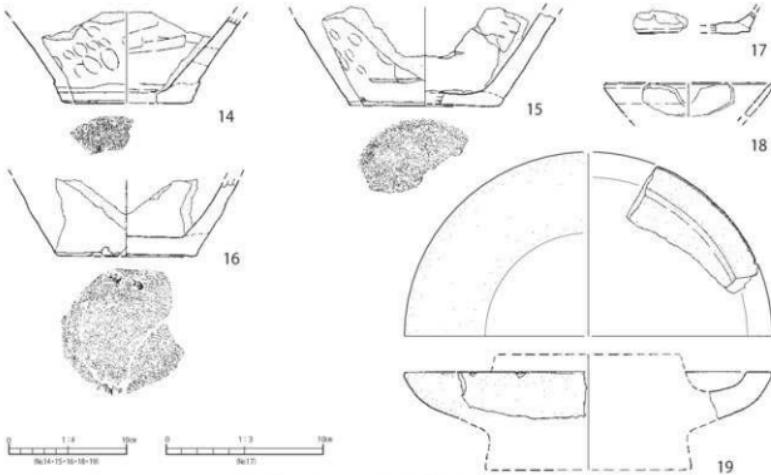
掲載番号	種別	器種	残存部位	器高・幅	口径・幅	底径・厚さ	重量	外面色調	内面色調	主な様様・調整等	備考
1	土師器	甕	L1～I1 1/4	(9.1) <18.0>	—	—	5YR 4/4	にぶい 赤褐色	5YR 4/4	にぶい 外:(体上部)ヘラケズリ。(体)ナデ。 内:(体)ナデ。	角窓石、白色粒。
2	須恵器	羽釜	L1 破片	(4.0) <25.6>	—	—	10YR 6/4	にぶい 黄褐色	7.5YR 7/3	にぶい 内:ヨコナデ ²	吉井型、蓮花始輪成、 黒色粒、白色粒。
3	土師器	土釜	L1～I1 1/4	(7.2) <23.0>	—	—	5YR 5/3	にぶい 赤褐色	5YR 6/4	にぶい 外:スス付着。(体上部)ヘラケズリ。 内:網	白色粒。
4	瓦	平瓦	— (11.0)	—	—	—	2.5Y 7/2	灰黄	2.5Y 7/2	灰調 凸面:繩引き目。 凹面:丸目(粗目)。	石英、白色粒、黑色粒。
5	灰陶陶器	長頸壺	頸 破片	(3.2)	—	—	2.5Y 6/1	黄灰	5Y 5/2	灰灰 外:ヨコナデ。 内:ヨコナデ。	白色粒。
6	須恵器	环	I1/5 (2.6)	<13.2>	—	—	2.5Y 6/1	黄灰	2.5Y 6/1	黄灰 外:ヨコナデ。 内:ヨコナデ。	白色粒、黑色粒。
7	土師器 土器	甕	底 破片	(3.2)	— <9.0>	—	5YR 4/4	にぶい 赤褐色	5YR 4/4	にぶい 外:ナデ。 内:ナデ。	口クロ成形。 角窓石、白色粒。



第8図 SK 02出土遺物図(2)

第4表 SK 02出土遺物観察表②

記載番号	種別	器種	残存部位	器高 長さ	L1径 幅	底径 厚さ	重量	外面色調	内面色調	主な文様・調整等	備考
8	軟質陶器	内耳鉢	L1一体	(17.6)	<40.0>	—	—	2.5Y 5/1	黄灰 6/1	黄灰	外: ヨコナデ。指面圧痕。 内: ヨコナデ。指面圧痕。内耳押し込み痕。
9	軟質陶器	内耳鉢	L1 1/8	(6.4)	<36.4>	—	—	2.5Y 5/1	黄灰 5/1	黄灰	外: ヨコナデ。指面圧痕。 内: ヨコナデ。指面圧痕。
10	軟質陶器	内耳鉢	L1一体	(12.7)	<30.2>	—	—	2.5Y 4/1	黄灰 6/1	黄灰	外: (L1) ヨコナデ。 内: (L1-体) ヨコナデ。
11	軟質陶器	内耳鉢	L1 1/3	(13.4)	30.0	—	—	2.5Y 5/2	暗灰黄 6/1	黄灰	外: ヨコナデ。指面圧痕。 内: ヨコナデ。指面圧痕。



第9図 SK 02出土遺物図(3)

第5表 SK 02出土遺物観察表③

記載番号	種別	器種	残存部位	器高・底径	口径幅	底径厚さ	重量	外面部調	内面部調	主な文様・調整等	備考
12	軟質陶器	鉢	口～全体	(0.1)	—	—	—	10YR 6/2	灰黄褐 1/4	楕円	白色粒、黒色粒。 外：指頭圧痕。 内：ヨコナデ。
13	軟質陶器	内耳鉢	口	破片	(4.8)	—	—	10YR 5/1	褐灰 5/1	楕円	白色粒、黒色粒。 外：ヨコナデ。 内：ヨコナデ。
14	軟質陶器	鉢	底～全体	(7.0)	—	<10.0	—	10YR 5/2	灰黄褐 5/2	楕円 外：指頭圧痕。(底)回転系切り。ヘラナデ。	内面磨拭。 白色粒、黒色粒。白 色擦、黒色擦。
15	軟質陶器	鉢	底～全体	(8.3)	—	<12.4	—	N 6/	灰 6/1	楕円	内面磨拭。 白色粒、褐色擦。 外：指頭圧痕。(底)回転系切り。ヘラナ デ。スヌ付着。
16	軟質陶器	鉢	底3/4	(6.5)	—	<11.8	—	10YR 6/1	褐灰 6/1	楕円	内面磨拭。 白色粒、褐色擦。 外：(底)回転系切り(左)。
17	かわらけ	皿	底1/6	(1.4)	—	—	—	5YR 6/6	稍 7/3	楕円	ロクロ底形。 褐色擦、黒色粒。
18	かわらけ	环	体	破片	(2.7)	<14.0	—	10YR 7/3	にぶい 黄褐 7/3	楕円	ロクロ底形。 黑色粒。
19	石製品	基盤	上縁	1/7	(3.9)	<31.0	—	(214) 3/1	2.5Y 3/1	黒褐 3/1	内面：表面粗く調査。 外：ヨコナデ。
			(下縁)								多孔質砂岩。

段差上に地下式坑が、平坦面上には多数のピット群と土坑が検出されている。覆土の最上層に As-B が含まれるが、下部の三層には含まれない。 遺物 覆土中から軟質陶器の内耳鉢(No. 1)、常滑焼の甕片(No. 2)、瀬戸焼の鉢抹片(No. 3)が出土している。 時代 遺物から 15世紀～16世紀と推定される。

3. 土坑・ピット

土坑が 10 基、ピットが 52 基検出された。P 1 を除き、段切り状遺構と考えられる段切りされた段差の下方の平坦面で検出されている。各土坑・ピットの詳細は表 6 に記載している。

土坑 SK 04 を除いて覆土に As-B が含まれないが、段切り状遺構に伴うものと考えれば、遺構の形成時期は中世と推定できる。SK 02 は前述の通り地下式坑として扱った。不定形を呈する SK 03・06 を除き、平面形は長方形である。SK 04 は、細長い長方形の溝状を呈し、深さ 10cm 程度と浅い。SK 04・07・08 は調査区東端に位置する。3 つの土坑がそれぞれ切り合っており、新旧関係は新しい順に SK 04、07、08 となる。SK 06・08・09 は調査区外にかかっているため、正確な規模等は不明である。SK 03 からは須恵器片が 1 点、SK 04 からは土師器片が 3 点出土している。SK 03・04 以外では遺物は出土しなかった。 ピット 前述のとおり、大半が段切り状遺構の平坦面に位置し、ピット群を形成している。深さは最大約 67cm で、浅いものは 10cm 程度である。覆土は、P21・P29・P34・P37 を除き、As-B を含ま

第6表 土坑・ピット計測表

遺構番号	X軸	Y軸	平面形状	断面形状	主軸方位	長軸	短軸	最深	時期	遺物、備考
SK01	44055 ~ 44057	-77784 ~ -77786	楕丸左方彌	円形	N-85°W	116	66	20	As-B 崩下以前～中世	P 3に切られる
SK03	44054 ~ 44056	-77786 ~ -77788	長方彌	逆円形	N-64°W	120	83	51	As-B 崩下以前～中世	SI SK02を切る
SK04	44054 ~ 44059	-77778 ~ -77780	長方彌	圓形	N-15°W	378	64	9	As-B 崩下以前～中世	H3 SK07・08を切る
SK05	44055 ~ 44057	-77780 ~ -77782	楕丸左方彌	圓形	N-6°W	121	84	40	As-B 崩下以前～中世	P16に切られる
SK06	44058 ~ 44060	-77778 ~ -77780	不整長方彌	圓形	N-17°W	(155)	(56)	18	As-B 崩下以前～中世	
SK07	44056 ~ 44058	-77777 ~ -77779	楕丸左方彌	圓形	N-6°W	132	87	48	As-B 崩下以前～中世	SK04に切られる。SK08を切る
SK08	44055 ~ 44058	-77777 ~ -77780	楕丸左方彌	圓形	N-83°E	(158)	(50)	51	As-B 崩下以前～中世	
SK09	44053 ~ 44055	-77778 ~ -77780	楕丸左方彌	圓形	N-71°E	115	(32)	59	As-B 崩下以前～中世	P40を切る
P 1	44050 ~ 44051	-77787 ~ -77789	楕円彌	逆円形	N-3°E	G77	30	35	As-B 崩下以前～中世	
P 2	44056 ~ 44057	-77785 ~ -77786	楕丸左方彌	逆円形	N-21°E	(13)	(29)	29	As-B 崩下以前～中世	
P 3	44055 ~ 44056	-77785 ~ -77786	楕丸左方彌	圓形	N-3°W	21	21	46	As-B 崩下以前～中世	SK01を切る
P 4	44056 ~ 44058	-77780 ~ -77781	円彌	逆円形	N-77°E	24	22	23	As-B 崩下以前～中世	
P 5	44054 ~ 44055	-77784 ~ -77785	楕丸左方彌	逆円形	N-28°W	24	22	30	As-B 崩下以前～中世	
P 6	44053 ~ 44055	-77784 ~ -77785	楕丸左方彌	逆円形	N-2°W	22	22	28	As-B 崩下以前～中世	
P 7	44053 ~ 44054	-77784 ~ -77785	円彌	逆円形	N-80°W	23	22	31	As-B 崩下以前～中世	
P 8	44053 ~ 44055	-77779 ~ -77780	不整長方彌	U字形	N-70°E	48	33	58	As-B 崩下以前～中世	
P 9	44055 ~ 44057	-77779 ~ -77780	不整長方彌	段を持つU字形	N-61°E	42	24	51	As-B 崩下以前～中世	
P 10	44053 ~ 44054	-77778 ~ -77783	長方彌	圓形	N-77°E	43	33	58	As-B 崩下以前～中世	
P 11	44050 ~ 44052	-77780 ~ -77782	楕丸左方彌	圓形	N-75°W	26	23	53	As-B 崩下以前～中世	
P 12	44053 ~ 44054	-77785 ~ -77786	楕円彌	逆円形	N-6°E	23	18	10	As-B 崩下以前～中世	
P 13	44054 ~ 44055	-77785 ~ -77786	楕丸左方彌	逆円形	N-17°E	20	20	11	As-B 崩下以前～中世	
P 14	44052 ~ 44054	-77784 ~ -77785	楕丸左方彌	逆円形	N-6°E	20	20	22	As-B 崩下以前～中世	
P 15	44052 ~ 44054	-77783 ~ -77784	楕丸左方彌	U字形	N-12°E	33	32	62	As-B 崩下以前～中世	
P 16	44055 ~ 44057	-77780 ~ -77781	楕丸左方彌	U字形	N-34°W	46	28	67	As-B 崩下以前～中世	SK05を切る
P 17	44056 ~ 44057	-77781 ~ -77782	長方彌	U字形	N-24°W	41	23	28	As-B 崩下以前～中世	
P 18	44054 ~ 44055	-77778 ~ -77783	円彌	U字形	N-42°E	18	16	25	As-B 崩下以前～中世	
P 19	44052 ~ 44053	-77778 ~ -77784	楕丸左方彌	U字形	N-7°E	20	20	24	As-B 崩下以前～中世	
P 20	44057 ~ 44058	-77782 ~ -77783	楕丸左方彌	U字形	N-18°W	21	18	20	As-B 崩下以前～中世	
P 21	44053 ~ 44055	-77781 ~ -77782	楕円彌	U字形	N-9°W	29	20	36	As-B 崩下以前～中世	
P 22	44054 ~ 44056	-77783 ~ -77784	楕丸左方彌	逆円形	N-14°W	22	22	23	As-B 崩下以前～中世	
P 23	44055 ~ 44056	-77784 ~ -77785	楕丸左方彌	逆円形	N-39°W	24	22	23	As-B 崩下以前～中世	
P 24	44058 ~ 44059	-77778 ~ -77780	楕円彌	U字形	N-87°E	39	27	53	As-B 崩下以前～中世	SK06を切る
P 25	44058 ~ 44059	-77779 ~ -77780	楕丸左方彌	逆円形	N-10°W	22	15	17	As-B 崩下以前～中世	
P 26	44058 ~ 44059	-77779 ~ -77780	楕円彌	逆円形	N-83°E	26	21	28	As-B 崩下以前～中世	
P 27	44059 ~ 44061	-77779 ~ -77781	不整長方彌	逆円形	N-69°E	79	55	55	As-B 崩下以前～中世	
P 28	44059 ~ 44061	-77779 ~ -77781	不整長方彌	圓形	N-25°W	40	24	51	As-B 崩下以前～中世	
P 29	44056 ~ 44057	-77782 ~ -77783	円彌	圓形	N-26°W	21	20	45	As-B 崩下以前～中世	
P 30	44059 ~ 44060	-77779 ~ -77780	楕丸左方彌	U字形	N-3°W	17	17	17	As-B 崩下以前～中世	
P 31	44058 ~ 44059	-77779 ~ -77780	楕丸左方彌	逆円形	N-69°W	35	25	38	As-B 崩下以前～中世	
P 32	44057 ~ 44058	-77779 ~ -77780	不整方彌	U字形	N-86°E	(45)	21	26	As-B 崩下以前～中世	SK04に切られる
P 33	44054 ~ 44055	-77778 ~ -77779	楕丸左方彌	逆円形	N-85°E	23	21	21	As-B 崩下以前～中世	
P 34	44054 ~ 44055	-77782 ~ -77783	楕丸左方彌	逆円形	N-75°E	40	23	36	As-B 崩下以前～中世	
P 35	44053 ~ 44055	-77782 ~ -77784	不整方彌	段を持つ逆円形	N-55°E	40	26	40	As-B 崩下以前～中世	
P 36	44055 ~ 44057	-77781 ~ -77782	楕丸左方彌	圓形	N-10°W	25	25	47	As-B 崩下以前～中世	
P 37	44054 ~ 44055	-77781 ~ -77782	不整方彌	逆円形	N-38°E	38	26	41	As-B 崩下以前～中世	
P 38	44056 ~ 44057	-77783 ~ -77785	楕丸左方彌	逆円形	N-1°W	24	19	17	As-B 崩下以前～中世	
P 39	44056 ~ 44057	-77782 ~ -77784	楕丸左方彌	段を持つU字形	N-42°E	(10)	20	40	As-B 崩下以前～中世	SK02に切られる
P 40	44054 ~ 44055	-77779 ~ -77780	楕丸左方彌	逆円形	N-63°W	0	20	16	As-B 崩下以前～中世	SK09に切られる
P 41	55054 ~ 44055	-77780 ~ -77781	不整方彌	圓形	N-17°W	90	35	47	As-B 崩下以前～中世	
P 42	44055 ~ 44056	-77780 ~ -77781	楕丸左方彌	逆円形	N-18°W	20	20	14	As-B 崩下以前～中世	
P 43	44055 ~ 44057	-77779 ~ -77781	楕円彌	圓形	N-82°W	30	25	16	As-B 崩下以前～中世	
P 44	44056 ~ 44057	-77778 ~ -77779	楕円彌	U字形	N-20°W	26	21	13	As-B 崩下以前～中世	
P 45	44054 ~ 44056	-77778 ~ -77783	楕丸左方彌	圓形	N-56°E	20	17	13	As-B 崩下以前～中世	
P 46	44056 ~ 44057	-77778 ~ -77782	楕丸左方彌	圓形	N-16°W	17	16	13	As-B 崩下以前～中世	
P 47	44055 ~ 44056	-77784 ~ -77785	円彌	U字形	N-27°E	20	19	26	As-B 崩下以前～中世	
P 48	44054 ~ 44056	-77784 ~ -77785	楕丸左方彌	圓形	N-72°W	24	20	9	As-B 崩下以前～中世	
P 49	44052 ~ 44053	-77782 ~ -77783	楕丸左方彌	逆円形	N-6°W	(208)	18	12	As-B 崩下以前～中世	
P 50	44054 ~ 44055	-77780 ~ -77781	円彌	U字形	N-48°E	25	23	23	As-B 崩下以前～中世	
P 51	44054 ~ 44055	-77780 ~ -77782	楕丸左方彌	圓形	N-16°W	20	20	11	As-B 崩下以前～中世	
P 52	44055 ~ 44056	-77781 ~ -77783	円彌	逆円形	N-84°W	21	18	14	As-B 崩下以前～中世	

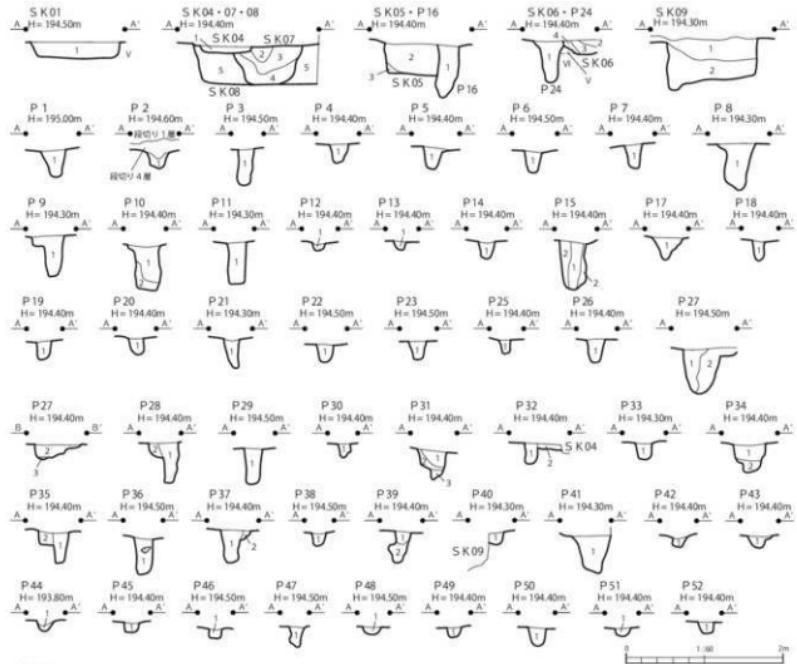
※遺物略号: H=土器部、S=須恵器

ない。土坑と同様、段切り状遺構に伴うものと考えれば、遺構の形成時期は中世と推定できる。断面形には階段状の段差を形成するものは、柱の抜き取り痕と考えられるが、掘立柱建物の可能性のあるものは見られなかった。平面形状は多くが方形、または不整長方形を呈する。いずれのピットからも遺物は出土しなかった。

4. 遺物

出土遺物は、前述のとおり SK 02, S I 01 に集中している。ここでは、掲載した 24 点のうち 19 点について述べる。

内耳鏡 いずれの個体も口縁のみで、底部は残存していない。SK 02 No. 8 は、推定径 40cm で、内外ともに明瞭な



SK01

- 1 ①暗灰褐色(2.5Y5/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~3.0)微含。YP(φ0.1~2.0)微含。炭化物(φ0.1~2.5)微含。黄色粒子(φ0.3~0.8)少含。

SK04-07+08

- 1 ①黒褐色(10YR3/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~2.0)微含。As-B(φ0.05~0.5)多含。
- 2 ①黒褐色(10YR3/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ロームブロック(φ0.5~2.0)微含。黑色土粒(φ0.05~0.1)含む。
- 3 ①黒褐色(10YR4/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)含む。ロームブロック(φ0.5~3.0)微含。
- 4 ①灰黃褐色(10YR4/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~16.0)含む。
- 5 ①灰黃褐色(10YR4/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)含む。ロームブロック(φ0.5~4.0)少含。

SK05+P16

- 1 ①黒褐色(10YR2/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~12.0)少含。黄色粒子(φ0.1~1.0)少含。
- 2 ①灰黃褐色(10YR4/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)含む。ロームブロック(φ0.5~5.0)少含。黄色粒子(φ0.1~1.5)含む。
- 3 ①灰黃褐色(10YR4/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~0.5)少含。黄色粒子(φ0.1~1.5)含む。

SK06+P24

- 1 ①黒褐色(10YR2/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.04~0.4)含む。ロームブロック(φ0.5~1.0)微含。炭化物(φ0.1~1.0)含む。
- 2 ①暗灰褐色(10YR2/1)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~1.3)微含。炭化物(φ0.1~0.3)微含。黄色粒子(φ0.1~0.8)微含。
- 3 ①灰黃褐色(10YR5/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.1~1.2)含む。
- 4 ①黒褐色(10YR2/2)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.1~0.2)微含。黄色粒子(φ0.1~0.2)微含。

SK09

- 1 ①褐灰色(10YR4/1)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.2)含む。ロームブロック(φ0.5~4.0)少含。黄色粒子(φ0.1~0.5)微含。
- 2 ①褐灰色(10YR4/1)②シルト③SIL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.2)微含。ロームブロック(φ0.5~3.0)少含。炭化物(φ0.1~0.2)微含。黄色粒子(φ0.1~0.8)微含。

P 1

- 1 ①黒褐色(10YR3/1)②シルト③SL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.2~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~1.0)少含。

P 2

- 1 ①灰オリーブ色(5Y5/2)②シルト③L④弱至強軟玉ローム粒(φ0.1~0.4)多含。ロームブロック(φ0.5~2.0)含む。

P 3

- 1 ①暗灰褐色(2.5Y5/2)②シルト③SL④弱至強軟玉ローム粒(φ0.05~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~1.0)微含。黄色粒子(φ0.05~0.2)少含。

第10図 土坑、ピット断面図

- | | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| P 4 | 1 黒褐色(2.5Y3/1)シルト・3SL(弱)弱め軟アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~1.0)微含。 |
| P 5 | 1 ①暗紺黃色(2.5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱めしようじローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~2.5)微含。黄色粒子(φ0.05~2.0)微含。 |
| P 6 | 1 ④暗紺黃色(2.5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱めしようじローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~4.0)微含。黄色粒子(φ0.05~1.0)微含。 |
| P 7 | 1 ④暗紺黃色(2.5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱めしようじローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~3.0)微含。黄色粒子(φ0.05~0.8)微含。 |
| P 8 | 1 黑褐色(2.5Y3/1)シルト・3SL(弱)弱め軟アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~5.0)少含。 |
| P 9 | 1 ④暗紺黃色(2.5Y3/1)シルト・3SL(弱)弱め軟アローム粒(φ0.1~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~5.0)少含。 |
| P 10 | 1 ①暗紺黃色(2.5Y3/1)シルト・3SL(弱)弱めしようじローム粒(φ0.1~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~5.0)少含。
2 ①暗紺黃色(10Y3/4)シルト・3SL(弱)弱めしようじローム粒(φ0.1~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~7.0)少含。YP(φ0.05~0.4)少含。 |
| P 11 | 1 黑褐色(2.5Y3/1)シルト・3SL(弱)弱め軟アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~5.5)少含。 |
| P 12 | 1 ④暗紺ワーム色(5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.2)少含。ロームブロック(φ0.5~3.5)少含。黄色粒子(φ0.1~0.6)微含。 |
| P 13 | 1 ④暗紺黃色(2.5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。黄色粒子(φ0.05~0.3)少含。 |
| P 14 | 1 ④暗紺黃色(2.5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~3.5)微含。黄色粒子(φ0.05~0.5)少含。 |
| P 15 | 1 ④暗紺黃色(2.5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~5.0)少含。
2 ②灰オリーブ色(5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~7.0)少含。黄色粒子(φ0.1~1.5)少含。 |
| P 17 | 1 ④暗紺ワーム色(5Y5/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~2.0)微含。 |
| P 18 | 1 ④暗紺ワーム色(2.5Y3/1)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~1.5)微含。 |
| P 19 | 1 黑褐色(10Y3/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~2.5)少含。 |
| P 20 | 1 黑褐色(10Y3/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~2.0)微含。 |
| P 21 | 1 黑褐色(10Y3/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~2.0)少含。As-B(φ0.1~1.0)微含。 |
| P 22 | 1 黑褐色(2.5Y3/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~1.0)微含。 |
| P 23 | 1 黑褐色(10Y3/2)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~1.0)微含。 |
| P 25 | 1 ④暗紺色(10Y4/1)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。炭化物(φ0.1~0.5)微含。黄色粒子(φ0.1~0.5)少含。 |
| P 26 | 1 ④暗紺色(10Y4/1)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~2.0)微含。黄色粒子(φ0.1~0.5)微含。 |
| P 27 | 1 ①暗紺色(10Y2/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~2.5)微含。黄色粒子(φ0.1~0.5)微含。
2 ③暗紺色(10Y2/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~2.0)少含。黄色粒子(φ0.1~2.5)少含。
3 ③暗紺色(10Y2/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~3.5)少含。 |
| P 28 | 1 ①黒褐色(10Y2/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~0.5)少含。黄色粒子(φ0.1~0.5)微含。
2 ①黒褐色(10Y2/2)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~1.5)少含。黄色粒子(φ0.1~0.5)微含。 |
| P 29 | 1 ④暗紺色(10Y3/1)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~2.0)微含。As-B(φ0.1~1.0)微含。 |
| P 30 | 1 ④暗紺色(10Y4/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~2.3)少含。炭化物(φ0.2~0.8)微含。黄色粒子(φ0.1~0.3)微含。 |
| P 31 | 1 ④暗紺色(10Y4/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~3.5)微含。黄色粒子(φ0.1~0.6)少含。
2 ④暗紺色(10Y4/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。黄色粒子(φ0.1~1.0)多含。
3 ①黒褐色(10Y3/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。黄色粒子(φ0.1~0.5)少含。 |
| P 32 | 1 ①黒褐色(10Y3/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。黄色粒子(φ0.1~0.2)微含。
2 ④暗紺色(10Y4/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。黄色粒子(φ0.1~0.8)少含。 |
| P 33 | 1 ④暗紺色(10Y4/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~3.0)少含。黄色粒子(φ0.1~0.8)微含。 |
| P 34 | 1 ④暗紺ワーム色(2.5Y3/3)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~5.0)少含。As-B(φ0.1~1.5)少含。
2 ②黒褐色(2.5Y3/2)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~6.0)少含。As-B(φ0.1~1.0)少含。 |
| P 35 | 2 ④暗紺ワーム色(2.5Y3/3)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~5.0)少含。
2 ④暗紺黃色(2.5Y4/2)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.1)少含。ロームブロック(φ0.5~2.5)少含。 |
| P 36 | 1 ④暗オリーブ色(2.5Y3/3)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~2.5)微含。 |
| P 37 | 1 ④暗紺ワーム色(2.5Y3/3)シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~4.0)少含。As-B(φ0.1~0.5)微含。
2 ②オリーブ色(2.5Y4/2)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.1~0.4)微含。ロームブロック(φ0.5~2.0)微含。 |
| P 38 | 1 黑褐色(10Y2/3)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.1)少含。ロームブロック(φ0.5~8.0)含む。黄色粒子(φ0.1~2.0)微含。 |
| P 39 | 1 ①黒褐色(10Y2/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~2.0)少含。炭化物(φ0.1~0.5)微含。黄色粒子(φ0.1~1.0)多含。
2 ①黒褐色(10Y2/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.2)少含。炭化物(φ0.1~1.0)少含。 |
| P 40 | 1 ④暗紺色(10Y4/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.2)少含。ロームブロック(φ0.5~0.6)少含。黄色粒子(φ0.1~0.5)微含。 |
| P 41 | 1 ④黒褐色(10Y3/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.2)多含。ロームブロック(φ0.5~4.0)微含。炭化物(φ0.1~2.0)少含。黑色土色(φ0.1~5.0)少含。 |
| P 42 | 1 ④黒褐色(10Y3/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.2)少含。ロームブロック(φ0.5~3.0)微含。炭化物(φ0.1~0.3)微含。黄色粒子(φ0.1~0.3)微含。 |
| P 43 | 1 ①黒色(10Y2/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.2)少含。ロームブロック(φ0.5~3.5)少含。炭化物(φ0.1~0.3)微含。黄色粒子(φ0.1~0.2)微含。 |
| P 44 | 1 ①黒色(10Y1/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。炭化物(φ0.1~0.3)微含。黄色粒子(φ0.1~0.6)少含。 |
| P 45 | 1 ④暗紺色(10Y4/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.1)少含。ロームブロック(φ0.5~1.5)少含。炭化物(φ0.1~0.2)微含。黄色粒子(φ0.1~0.3)微含。 |
| P 46 | 1 ④暗紺色(10Y3/1)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.1)少含。ロームブロック(φ0.5~4.0)少含。炭化物(φ0.1~0.3)微含。黄色粒子(φ0.1~0.5)微含。 |
| P 47 | 1 ④暗紺色(10Y3/2)走シルト・3SL(弱)弱め软アローム粒(φ0.05~0.4)少含。ロームブロック(φ0.5~1.5)微含。炭化物(φ0.1~0.5)微含。黄色粒子(φ0.1~0.5)微含。 |